【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成23年5月26日(2011.5.26)

【公表番号】特表2004-501264(P2004-501264A)
【公表日】平成16年1月15日(2004.1.15)
【年通号数】公開・登録公報2004-002
【出願番号】特願2002-504373(P2002-504373)
【国際特許分類】
Ｃ０９Ｄ 183/04　　(2006.01)
Ｃ０９Ｄ　5/00　　(2006.01)
Ｃ０９Ｄ 183/07　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０９Ｄ 183/04
Ｃ０９Ｄ　5/00　　Ｚ
Ｃ０９Ｄ 183/07

【手続補正書】
【提出日】平成23年4月8日(2011.4.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　（Ａ）無溶剤シリコーンコーティング組成物、および
（Ｂ）（ａ）１分子当たり少なくとも２つのケイ素結合水素基を含む少なくとも１種のオルガノ水素ケイ素化合物と、（ｂ）１分子当たり少なくとも３つのケイ素結合アルケニル基を含む少なくとも１種のオルガノアルケニルシロキサンと、（ｃ）（ａ）＋（ｂ）１００万重量部につき１から２５０重量部の白金族金属を提供するのに十分な量で存在する白金族金属含有触媒とを、成分（ａ）のケイ素結合水素原子数：成分（ｂ）のケイ素結合アルケニル基数の比率が１：４．６以下であるという条件で、混合することを含む方法によって得られる、１５０から５０，０００ミリパスカル秒（ｍＰａ．ｓ）（１ミリパスカル秒＝１センチポイズ）の粘度を有する液体シリコーンミスト抑制剤組成物、
を含むシリコーンコーティング組成物。
【請求項２】　（Ａ）１分子当たり少なくとも２つのケイ素結合アルケニル基を含むオルガノケイ素化合物、および
（Ｂ）（ａ）１分子当たり少なくとも２つのケイ素結合水素基を含む少なくとも１種のオルガノ水素ケイ素化合物と、（ｂ）１分子当たり少なくとも３つのケイ素結合アルケニル基を含む少なくとも１種のオルガノアルケニルシロキサンと、（ｃ）（ａ）＋（ｂ）１００万重量部につき１から２５０重量部の白金族金属を提供するのに十分な量で存在する白金族金属含有触媒とを、成分（ａ）のケイ素結合水素原子数：成分（ｂ）のケイ素結合アルケニル基数の比率が１：４．６以下であるという条件で、混合することを含む方法によって得られる、１５０から５０，０００ミリパスカル秒（ｍＰａ．ｓ）（１ミリパスカル秒＝１センチポイズ）の粘度を有する液体シリコーンミスト抑制剤組成物、
を含むシリコーンコーティング組成物。
【請求項３】　（ａ）１分子当たり少なくとも２つのケイ素結合水素基を含む少なくとも１種のオルガノ水素ケイ素化合物と、（ｂ）１分子当たり少なくとも３つのケイ素結合アルケニル基を含む少なくとも１種のオルガノアルケニルシロキサンと、（ｃ）（ａ）＋（ｂ）１００万重量部につき１から２５０重量部の白金族金属を提供するのに十分な量

で存在する白金族金属含有触媒とを、成分（ａ）のケイ素結合水素原子数：成分（ｂ）のケイ素結合アルケニル基数の比率が１：４．６以下であるという条件で、混合することを含む方法によって得られる１５０から５０，０００ミリパスカル秒（１ミリパスカル秒＝１センチポイズ）の粘度を有する液体シリコーンミスト抑制剤組成物を、無溶剤シリコーンコーティング組成物に加えることを含む、シリコーンコーティング組成物中のミストを減少させる方法。

【請求項４】　硬化コーティングの形成方法であって、該方法は、

（Ｉ）（ａ）１分子当たり少なくとも２つのケイ素結合水素基を含む少なくとも１種のオルガノ水素ケイ素化合物と、（ｂ）１分子当たり少なくとも３つのケイ素結合アルケニル基を含む少なくとも１種のオルガノアルケニルシロキサンと、（ｃ）（ａ）＋（ｂ）１００万重量部につき１から２５０重量部の白金族金属を提供するのに十分な量で存在する白金族金属含有触媒とを、成分（ａ）のケイ素結合水素原子数：成分（ｂ）のケイ素結合アルケニル基数の比率が１：４．６以下であるという条件で、混合することを含む方法によって得られる１５０から５０，０００ミリパスカル秒（１ミリパスカル秒＝１センチポイズ）の粘度を有する液体シリコーンミスト抑制剤組成物を、無溶剤シリコーンコーティング組成物に加える工程と、

（ＩＩ）基材の表面上に（Ｉ）から得られる混合物をコーティングする工程と、

（ＩＩＩ）前記コーティングを硬化するのに十分な量の（ｉ）熱または（ｉｉ）化学線から選択されるエネルギー源に該コーティングおよび前記基材を曝す工程と
を含む方法。